

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 3 月 10 日 (2016.3.10)

【公開番号】特開 2014-137406 (P2014-137406A)

【公開日】平成 26 年 7 月 28 日 (2014.7.28)

【年通号数】公開・登録公報 2014-040

【出願番号】特願 2013-4649 (P2013-4649)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/14 A

G 0 3 B 21/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 1 月 13 日 (2016.1.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

青色帯域の光を入射し、少なくとも青色帯域、赤色帯域および緑色帯域の光を発生させる回転体であって、

前記回転体は、第 1 の面と、当該第 1 の面に対向する第 2 の面とを有し、

前記第 1 の面には、少なくとも青色帯域の光を反射する反射領域と、青色帯域の光を透過し少なくとも赤色帯域および緑色帯域の光を反射するダイクロイック領域とが形成され、

前記第 2 の面には、前記ダイクロイック領域を透過した青色帯域の光に基づき赤色帯域の光を発光する第 1 の蛍光体領域および緑色帯域の光を発光する第 2 の蛍光体領域が形成される、回転体。

【請求項 2】

前記第 1 および第 2 の蛍光体領域は、前記第 2 の面の半径方向に複数組形成される、請求項 1 に記載の回転体。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の回転体と、

青色帯域の光を発する光源と、

前記回転体と前記光源の間に配され、前記光源からの青色帯域の光を第 1 の光軸に集光する第 1 の光学系と、

前記第 1 の光軸からシフトされた第 2 の光軸を有し、前記第 1 の光学系によって集光された青色帯域の光を前記回転体に集光させる第 2 の光学系とを有し、前記第 1 の光学系によって集光された光は、前記第 2 の光学系のレンズの片側半分に入射される、照明光学系

。